

## II . 学 芸 活 動

### 1 展 示

#### (1) 企画展示会

休館に伴い実施しなかった。

#### (2) 定例展示会

第50回 肥後しゃくやく展

地震の影響により中止した。

#### (3) 共催展

ア 第8回「地質の日」企画

「身近に知る『くまもとの大地』」

地震の影響により中止した。

イ 第56回肥後朝顔秋の展示会

日時 9月2日(金)、3日(土)

(4日は台風のため中止)

会場 水前寺公園古今伝授の間

### 2 企画展示会

#### (1) 企画展示会

休館に伴い実施しなかった。

### 3 教育・普及

#### (1) 観察会・見学会

休館に伴い実施しなかった。

#### (2) 教室・講座

子ども科学・ものづくり教室

ア 実施の経緯

熊本博物館は開館以来、自然・文化・歴史資料などの保存・継承と、それらの価値の発信拠点としての役割を果たしてきた。これに加え、近年は多様化・高度化する人々のニーズに応じた学習活動の支援をはじめ、多面的な機能を発揮することが求められている。

そのような中、当館では青少年が楽しく活動しながら自然科学の原理や技術（歴史や伝統文化に関する内容も一部含む）を体験的に学ぶことのできる機会を提供する目的で、平成11年度より「子ども科学・ものづくり教室」を開催している。

イ 平成28年度の取り組み

平成26年度および平成27年6月まではリニューアル準備期間の延期に伴って本体への着工が成されず、本館特別展示室と塚原歴史民俗資料館（以下「塚原」）の2ヶ所を会場として教室を実施。その結果、一昨年度の開催数は32回に及んだが、平成27年7月からは全館休館となり再度「塚原」のみで行うことにしたため、昨年度は23回の開催にとどまった。その内、2回は子ども文化会館（以下「子ども会館」）を利用した。

本館が依然として使用できなかった平成28年度は、塚原をメイン会場としながら中心市街地に近い施設（子ども会館等）も利用しながら年間22回の教室を予定していた。しかし、地震の影響で会場が使用できない期間が生じたため、最終的には全17回の実施となった。

教室内容は、理工分野に関するテーマがほとんどであるが、植物・地質分野に関する内容も関係学芸員に依頼して数回ずつ行った。また、熊本市「ものづくりサークル」には、前年度同様に6回の教室で実技補助等の協力をお願いした。

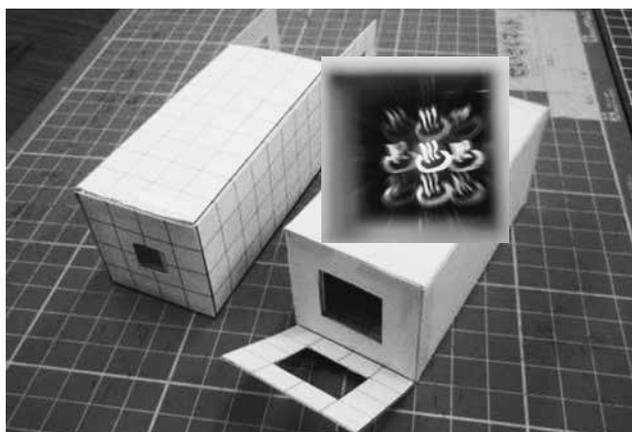
#### ウ 子ども科学・ものづくり教室の内容

##### (ア) 箱の中に虹を作ろう

工作用紙で作った箱の底面には覗き窓を開け、窓を覆うように分光シートを取り付ける。もう一方の底面にはスリット窓を開け、簡単な線や記号をカッターで切り抜いた画用紙をセットする。覗き穴に目を近づけ、スリット窓を蛍光灯などの光源に向けると（太陽を直接見てはいけない）、切り抜いた形がそのまま虹色のスペクトルとなる。この虹は、切り抜いた形を中心として上下左右斜め方向の8ヶ所で観察できる。波長の違いによる光の回折のイメージをモデル的に解説した。

箱本体を黒い紙（画用紙・色紙）で包むと余計な光が箱の中に入らず、明瞭な虹が観察できる。

- 日時 ① 5月14日（日）：塚原  
 ② 2月25日（土）：子ども会館  
 13時30分～15時



【虹の箱】

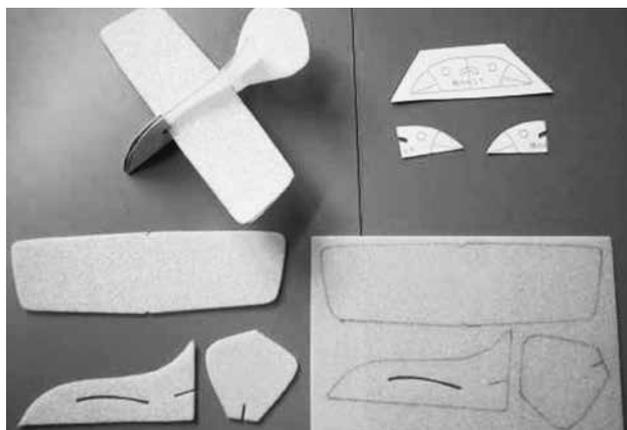
指導者 山口 均（理工）  
 協力者 ものづくりサークル会員4名  
 （協力者は2/25のみ参加）  
 参加者 ① 3名 ② 35名

##### (イ) 宙返りバードを作ろう

畳などの断熱材として使われるスタイロフォームを、電熱線カッターで1mm程度の厚さにスライスしておく。それをハサミで定型に切り取り、鳥の形に組み立てる。鳥の頭部に厚紙のおもりをつけ、翼の傾きを工夫して飛ばすと空中で後方宙返り（一回転）をする。

宙返りバードを作る前には、薄い発泡スチロール製のグライダーバード作りも取り入れた。

- 日時 6月11日（土）：塚原  
 13時30分～14時30分  
 指導者 山口 均（理工）  
 参加者 24名



【宙返りバード】

##### (ウ) おもしろ実験に挑戦！

色と光、振動と回転、振り子の周期等をテーマに、複数の実験・工作・体験コーナーを準備した。

光の全反射やベルヌーイの定理、摩擦の力と角運動量の保存に関連する実験・工作、振動を回転に変える「ガリガリとんぼ」の体験コーナーなど、4つのブースを開設して2時間たっぷり楽しんでもらった。

- 日時 ① 6月18日（土）：塚原  
 ② 1月22日（日）：子ども会館  
 13時30分～15時30分  
 指導者 山口 均（理工）  
 協力者 ものづくりサークル会員6名  
 参加者 ① 35名 ② 138名



【おもしろ実験】

(エ) アンモナイトのレプリカを作ろう

地質担当学芸員の講話と実技指導により、一人2個(別の種類)のレプリカ作りを行った。

アンモナイトの型枠に石膏を流し込んで固めた後、型枠から外して墨を塗ると、見事なレプリカができあがる。石膏が固まる時間や製作後の時間帯にはアンモナイトに関するプレゼンテーション解説がなされた。現生オウムガイとの比較や、水を張った水槽にオウムガイの殻を浮かべる演示などもあり、子どもたちの興味・関心を大いに高めた。

日時 7月28日(土): 塚原

13時30分～15時

指導者 南部 靖幸(地質)

山口 均(理工)

参加者 33名



【アンモナイトレプリカ型枠】

(オ) 科学手品&液体窒素実験ショー

家庭でも簡単にできる科学手品(空気中に浮かぶスチロール球、落ちない水と落ちないリング、手の

りブーメラン、水中で消えてしまう絵「えっ!?!」を披露したり、液体窒素実験ショーを行ったりした。ショーの合間には科学手品に関連する「ものづくり」ブースも開設し、たっぷりと科学実験や科学工作の楽しさに浸ってもらった。

地質担当学芸員による液体窒素実験ショーは20分の枠で3回開催したが、毎回、少しだけショーの内容を変更することでリピーターの連続参観にも対応した。

日時 8月6日(土): 塚原

13時30分～15時30分

指導者 南部 靖幸(地質)

山口 均(理工)

協力者 ものづくりサークル会員6名

参加者 87名



【液体窒素実験】

(カ) 大気圧と真空の実験ショー

普段は、その存在すら意識することの少ない「空気」をテーマにした定番のショー。お湯と容器を使った(気圧差を利用した)噴水実験や空き缶つぶし、真空ポンプを使った「膨らむ風船・水の減圧沸騰」などを披露した。

減圧沸騰後の容器に恐る恐る指先を近づける子どもたちの姿は、何度見ても愛らしかった。

日時 8月14日(日): 塚原

※ 午後の時間帯に3回実施

13時30分～、14時30分～、

15時30分～(各25分)

指導者 山口 均(理工)

参加者 12名

(キ) 水中UFOキャッチャーを作ろう

浮力について体験的に学ぶことのできる楽しいものづくり。水を満たした炭酸系のペットボトル（500 mL）に、水と空気の量を調節した金属フック付きの浮沈子（魚型たれピン）を入れる。ふたを締めてペットボトルに力を加えると浮沈子の容積が小さくなるため浮力も小さくなって沈む。浮力を調節し、水中のリングをフックで釣り上げて遊べるよう工夫したものである。

日時 8月20日（土）：塚原  
13時30分～15時  
指導者 山口 均（理工）  
参加者 33名

(ク) 紙パックカメラを作ろう

1リットル紙パック（や工作用紙）と凸レンズを組み合わせて簡易カメラを製作した。写真撮影はピントの調節が難しかったようだが、親子で協力しながら楽しい活動ができていた。スクリーン上に結ばれた像が上下左右、反転する画像も確認できた。昨年同様、曇り空で十分な光が被写体に当たらず、熱転写後の青写真も明瞭とは言えなかった。家庭での再挑戦を促した。

日時 8月27日（日）：塚原  
13時30分～15時  
指導者 山口 均（理工）  
参加者 22名



【紙パックカメラ】

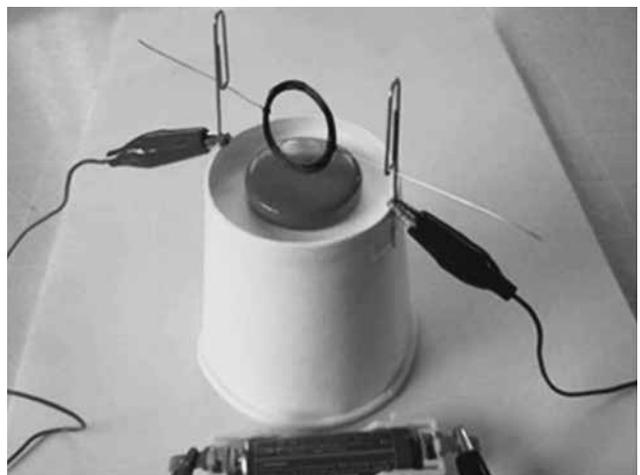
(ケ) コイルモーターを作ろう

「フレミングの左手の法則」について学ぶものづ

くりを行った。コイルの形を円形に保持したり、エナメル線の巻き始め・巻き終わりを紙やすりで剥がしたりする作業が難しかったため、製作補助具を工夫するなど、技術面での支援に努めた。

【製作補助具：コイルを作るための「木片（切れ込み入り）」や、二つ折りの工作用紙にコイルを挟み込んで形状が崩れないようにした「コイル挟み」等】

日時 9月17日（土）：塚原  
13時30分～15時  
指導者 山口 均（理工）  
協力者 ものづくりサークル会員3名  
参加者 28名



【コイルモーター】

(コ) 葉脈標本でしおりを作ろう

葉の採取と水酸化ナトリウム水溶液での事前処理等は、植物担当学芸員の協力を得て行った。

用意した葉はヒイラギとヒイラギモクセイ（中和後に酢を加え、弱酸性の状態を提供）の2種類で、歯ブラシを使って（横に動かすのではなく、軽く上から叩く動作を繰り返し）葉から葉肉を剥ぎ落として水洗い・水きり・風乾する。きれいに残った葉脈をラミネート加工し、「しおり」に仕立てた。

日時 10月15日（土）：塚原  
13時30分～15時  
指導者 山口 均（理工）  
参加者 12名

(サ) くるくる回るシャボン玉を作ろう

マジックで赤・緑・青（光の三原色）に着色したOHPシートを6mmの幅で細く切ったものを準備する。色を塗らない無色透明のシートも含めて各2枚ずつ、合計8枚をボール状に組み立て、軸をゆっくり回すと三色の残像が重なり合って本物のシャボン玉のように見える。光の三原色、残像、遠心力について簡単な解説を加えた。

後半は、光の三原色以外の色もシートに塗り、オリジナルのシャボン玉作りを楽しんだ。

日 時 11月12日（土）：塚原

13時30分～15時

指導者 山口 均（理工）

参加者 27名

(シ) 静電気実験ショー

空気が乾燥する時期。静電気にまつわる複数の実験や現象を紹介した。下敷きで髪の毛を擦って引き寄せる簡単な実験から、バンデグラフを使った火花放電まで、参加者は興味津々の様子で見入っていた。

電気コップを使った「百人おどし体験」は参観者から固辞されたため断念。ビニル紐（PP紐）を帯電させた「電気くらげ」は、ショーの終了後に自由体験の時間を設けた。「電気くらげ」を素早く空中に放り出すタイミングが難しく、「くらげ」に襲われた親子の歓声（悲鳴？）が響いた。

日 時 12月10日（土）：塚原

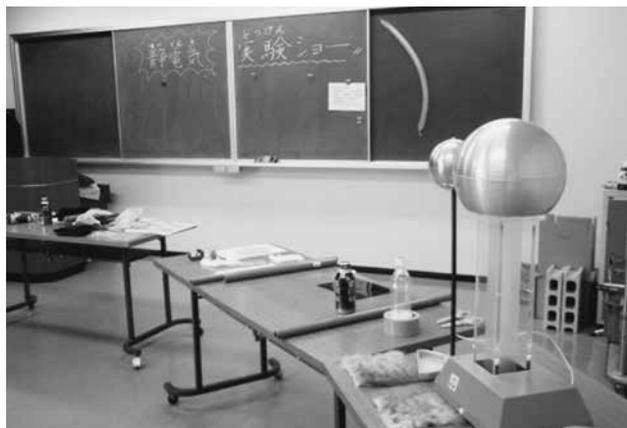
※ 午後の時間帯に3回実施

13時15分～、14時15分～、

15時15分～（各25分）

指導者 山口 均（理工）

参加者 8名



【静電気実験ショー：装置各種】

(ス) 静電気グッズを作ろう

「静電気実験ショー」で披露していた2種類のグッズ（電気コップと電気くらげ）に加え、静電気ベルの製作も取り入れた。

静電気ベル（写真参照）の土台となる空き缶の一方に帯電した塩ビ管や風船を近づけていく（何度か繰り返す）と、やがて宙吊りになった画鋲（ベル）が左右に振れて空き缶にぶつかり、きれいな音を奏でる。参加者は少なかったが、楽しい工作と不思議な静電気体験ができたように思う。

日 時 1月21日（土）：塚原

13時30分～14時30分

指導者 山口 均（理工）

参加者 3名



【静電気ベルが鳴ってるよ！】

(セ) 活性炭電池を作ろう

コイン電池や木炭電池など、電池は身近な材料でも簡単に作れることを実演し、その電池でモーターを回したり電子オルゴールを響かせたり低電圧

LED豆電球（極性に注意が必要）を光らせたりする体験の場を設けた。

一人2個ずつ活性炭電池を作り、直列つなぎにするとパワーアップすることをオルゴールの音色の大きさやモーターの回転速度の違いで確かめることができた。

日時 2月11日（土・祝）：塚原

13時30分～15時

指導者 山口 均（理工）

協力者 ものづくりサークル会員2名

参加者 22名

### （ソ）風船CDホバークラフトを作ろう

外から力が加わらなければ静止しているものはずっと動かず、動いているものは等速直線運動を続けるという「慣性の法則」と、動きに抗う「摩擦力」について学ぶものづくりを行った。

CDホバークラフトの滑らかな動きを興味深く見つめたり、嬉しそうに後を追ったりする子どもたちの姿が見られた。

「慣性の法則」の補足実験として市販の「だるま落とし」も準備し、自由に体験してもらった。

日時 3月4日（土）：塚原

13時30分～14時30分

指導者 山口 均（理工）

参加者 8名



【風船CDホバークラフト】

## （3）学校教育支援事業

「ゲストティーチャー派遣授業」と  
「館内学習支援活動」

### ア 実施の経緯

社会教育・生涯学習施設である博物館と学校の連携（博学連携）については、その必要性・重要性が以前にも増して高まってきた。そのような状況をふまえて、これまで行ってきた様々な教育普及活動の中で、学校教育に関わる部分を強化すべく、リニューアルを機に資料の見直し作業を進めると共に、教材として価値のある資料と学芸員の知識や技能を授業の中で有効活用するため「ゲストティーチャー派遣授業」を行うことにした。

また、リニューアル後の館内展示物や収蔵資料を学習活動に活かすため、市内小・中学校の先生（全：8名）を研究協力員に委嘱し、学芸員との協働による「館内学習支援プログラム」についても検討を始めたところである。

「ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業）」と「館内学習支援活動（お迎え事業）」により、学校教育支援と博学連携の更なる充実を目指す。

### イ 平成28年度の取り組み

平成27年度までは「学校教育支援事業モデル校2校（小学校）」において試行的に派遣授業を行ってきたが、本年度からは主な対象校を市内全域の小学校（90校余り）に拡げ、学校側からの要請に応じて可能な範囲で事業を展開することにした。しかし、熊本地震の影響で6月までの派遣は見送り、事業再開は7月からとなった。

授業プログラムの内容については、平成27年度中に『派遣授業：学習プログラム集2016』を作成し、市内全ての小中学校（約140校）に配布して周知を図った。派遣手続きも所定の依頼書により簡略化した。派遣授業のプログラム集および派遣依頼書については、本館HPにも掲載しているのでご参照いただきたい。

平成28年度中の「派遣授業」は延べ13プログラム：28時間（全7校からの要請）となり、「館内学習プログラム検討・作成会」は研究協力員一人あたり8回で、延べ64回を数えた。

ウ ゲストティーチャー派遣授業の内容

(ア) 画図小学校4年総合「江津湖の自然」

派遣日 7月14日(木)

授業者 清水 稔(動物)

児童数 約170名(5クラス合同:2時間)

※後述「総合的な学習の時間等への参加」参照

(イ) 清水小学校6年総合

「プチ歴史学講座入門① 熊本城をもっと知ろう！」

熊本のシンボルとなっている熊本城について、お城クイズ等を交えて紹介した。また、熊本地震による文化財被害についても紹介した。

派遣日 9月28日(水)

授業者 木山 貴満(歴史)

児童数 約90名(3クラス合同:1時間)



(ウ) 出水南小学校5年総合「江津湖の自然観察」

派遣日 10月4日(火)

授業者 清水 稔(動物)

山口 瑞貴(植物)

児童数 約130名(4クラス合同:3時間)

※後述「総合的な学習の時間等への参加」参照



(エ) 出水南小学校5年総合

「江津湖の自然と歴史①」

派遣日 11月4日(金)

授業者 清水 稔(動物)

木山 貴満(歴史)

山口 瑞貴(植物)

児童数 約130名(4クラス合同:2時間)

※後述「総合的な学習の時間等への参加」参照

(オ) 碩台小学校5年理科

「コイルモーターを作ろう(電磁石)」

「電気のはたらきを知ろう(発熱)」

中学校で学ぶフレミングの法則にもふれながら、永久磁石と電磁石(コイル)の組み合わせで簡単なモーターができることを確かめた。また、6年生で学ぶ「電気の利用」の予習として、発熱を利用した電熱線スライサーを持参し、スライスした発泡スチロール板でグライダーを作って飛ばす活動も取り入れた。

派遣日 12月7日(水)

授業者 山口 均(理工)

児童数 約40名(1クラス:2時間)



(カ) 大江小学校5年理科

「冬の星座と星の動き」

モバイルプラネタリウムを用いてオリオン座などの冬に見える代表的な星座や星の並びについて解説を行った。

派遣日 12月16日(金)

授業者 野村美月(天文)

協力者 山口 均(理工)

児童数 約80名（クラス別：3時間）



(キ) 西原小学校5年理科

「コイルモーターを作ろう（電磁石）」

中学校で学ぶフレミングの法則にもふれながら、永久磁石と電磁石（コイル）の組み合わせで簡単なモーターができることを確かめた。

派遣日 12月19日（月）

授業者 山口 均（理工）

児童数 約80名（クラス別：3時間）



(ク) 清水小学校6年社会・総合「雪舟の墨絵」

歴史（社会）と図工の合科的な学習に取り組んだ。水墨画の歴史や「雪舟」について資料を元に説明した後、全員で水墨画に挑戦した。

派遣日 ①1月19日（木）

②1月25日（水）

授業者 甲斐 由香里（保存科学）

協力者 山口 瑞貴（植物）

児童数 ①約60名（2クラス：2時間）

②約30名（1クラス：2時間）



(ケ) 出水南小学校5年総合

「江津湖の自然と歴史②」

派遣日 2月20日（月）

授業者 清水 稔（動物）

木山 貴満（歴史）

山口 瑞貴（植物）

児童数 約130名（クラス別：4時間）

※後述「総合的な学習の時間等への参加」参照

(コ) 田迎西小学校3年社会

「地域の行事を調べよう」

熊本で行われている祭りや家でなされている年中行事を紹介するとともに、祭りの持つ社会的な役割を学習した。あわせて学校周辺の寺社の祭りも紹介した。

派遣日 3月8日（水）

授業者 福西 大輔（民俗）

児童数 約70名（クラス別：2時間）



(サ) 大江小学校4年理科

「理科学習の進め方：5年生に向けて」

薄くスライスした発泡スチロールを鳥形飛行機に

加工して遊ぶ活動を通して、電気の働きに対する興味・関心を高め、探究活動で重視すべき条件制御の必要性（問題解決に必要な資質・能力）にもふれた。

派遣日 3月21日（火）

授業者 山口 均（理工）

児童数 約75名（クラス別：2時間）



エ 館内学習支援プログラム検討・作成会の概略  
博物館には展示資料や収蔵資料を通して来館者に「伝えたいこと」がある。来館者には資料を通して「知りたいこと」がある。博学連携の核は言うまでもなく児童・生徒であり、「伝えたいこと」と「知りたいこと」がリンクする館内学習支援プログラムを提示するためには、学芸員と学校の先生方との協働作業が不可欠である。

以下、平成28年度中に行った検討・作成会の概略を記す。

#### （ア）研究協力員の委嘱

平成27年度中に館内学習プログラム検討・作成会の実施要項を作成し、市内の小中学校で社会科や理科教育に精力的に取り組んでおられる先生方について情報を集めた。

平成28年度早々、その情報を元に所属学校長およびご本人の内諾を得て研究協力員委嘱を行った。研究協力員は社会科担当4名（小中：各2名）、理科担当4名（小中：各2名）、全8名にお願いした（4月上旬：熊本地震前）。検討・作成会は年度中に全部で8回実施した。

#### （イ）第1～2回「検討・作成会（全体会）」

4月中旬に起きた熊本地震のため、6月に予定していた会議を8月に延期せざるを得なかった。

第1回目と2回目は8名の研究協力員が一堂に会する「全体会」を行った（参加できなかった研究協力員は、後日、同じ内容で別途実施した）。

第1回目の会議では、研究協力員への委嘱状交付に続いて職員・研究協力員自己紹介、実施要項の確認・補足説明・質疑応答に移り、その後は「作成していただきたいプログラム様式案（展開例と学習シートのセット）」について説明を行った。

また、各学芸員が事前に準備していた「リニューアル後の予定展示物に関する補足資料」等を配布し、次回までに簡単に目を通しておいていただくようお願いした。

8月中旬に行った2回目の会議では、各学芸員が「おススメの資料」を中心に解説・補足を行い、研究協力員には膨大な数の資料の中から館内学習に利用できそうなメイン資料をいくつか選んでもらうようにした（研究協力員が各自6プログラムを作成するので、8人全員では48プログラムになる予定である）。

#### （ウ）第3～7回「検討・作成会」

学芸員はリニューアルその他の各種業務、研究協力員は日々の授業をはじめとする各種校務のため、互いに多忙で同一日時を設定するのは困難であった。そこで、支援事業担当者（館内職員：2名）が学芸員と研究協力員との連絡調整窓口となり、個別に時間設定を行いながら「検討・作成会」を適宜実施するようにした。学習展開の工夫や資料の効果的な提示・活用法について意見交換をしながらプログラム原案の作成を進めた。

個別の作成会を基本としながら、小学校理科部会・中学校社会科部会など、研究協力員の都合に合わせて様々な会合形態を採るようにした。

#### （エ）第8回「検討・作成会」（最終回）

最後の検討・作成会は、社会科部会・理科部会として、小中学校の連携を図るべく4名の研究協力員が参加する会合を予定していたが、各自の日程調整が難航し、結局は小社・小理・中社・中理部会（各

2名)を実施した。

一年間のご協力(実質的には半年余りの短期集中型の作成会となり、研究協力員の先生方には多大なご負担をおかけしたこと)に対して博物館側から感謝の気持ちをお伝えすると共に、互いに作成したプログラム原案を紹介し合い、内容検討・相互理解ができる機会になれば幸いと考えた。

(オ)平成29年度の予定

研究協力員と学芸員が協働で作成した48プログラムの「展開案と学習シート」を一次原稿として、平成29年度には編集・校正作業を数回行い、図版や写真等も追加しながら『館内学習支援プログラム集』にまとめる予定である。その冊子は、派遣授業プログラム集と同様に市内の全小・中学校に配布し、リニューアルオープンへの期待感を高め、多数のご来館を願う次第である。

#### (4) 総合的な学習の時間等への参加

ア 画図小学校4年 総合的な学習

日 時 7月14日(木)

9時45分～10時30分

場 所 画図小学校体育館

内 容 江津湖に生息する生物についての話

参加者 児童169名

講 師 清水 稔(動物)

イ 慶徳小学校第3学年 P T A 活動

日 時 9月24日(土)

9時30分～12時

場 所 慶徳小学校図工室

内 容 科学・ものづくり各種

参加者 43名(児童・保護者・教師)

講 師 山口 均(理工)

ウ 出水南小学校5年生 総合的な学習

日 時 ①10月4日(火)

9時15分～12時15分

②11月4日(金)

14時～16時

③2月20日(月)

8時30分～12時

場 所 上江津湖周辺(10/4)

出水南小学校(11/4、2/20)

内 容 ①江津湖での野外観察および生息する生物についての話(10/4、11/4)

②江津湖の成り立ちと人びとの暮らしについて(11/4、2/20)

参加者 児童128名

講 師 清水 稔(動物)

木山 貴満(歴史)

山口 瑞貴(植物)

エ 隈庄小学校第1学年 P T A 活動

日 時 11月27日(日)

9時30分～12時

場 所 隈庄小学校体育館

内 容 科学・ものづくり各種

参加者 160名(児童・保護者・教師)

講 師 山口 均(理工)

オ 城北小学校第5学年 P T A 活動

日 時 11月30日(水)

14時45分～16時45分

場 所 城北小学校5年教室・家庭科室

内 容 科学・ものづくり各種

参加者 165名(児童・保護者・教師)

講 師 山口 均(理工)

## (5) 学校以外への講師参加

### ア Space Apps Kumamoto

スペース・アイデアソン

日 時 4月10日(日)

13時～15時

場 所 崇城大学SCB放送局新市街スタジオ

内 容 地球観測衛星の解説

参加者 25名

講 師 野村 美月(天文)

### イ 「くまモンのほしぞらおもちゃばこ」上映会

日 時 6月26日(日)

10時30分～11時20分

場 所 熊本市現代美術館ホームギャラリー

内 容 当日の星空解説およびプラネタリウム番組「くまモンのほしぞらおもちゃばこ」の上映

参加者 約300名

講 師 野村 美月(天文)

### ウ 立田山自然探検隊7月例会

日 時 7月3日(日)

10時～12時

場 所 熊本市立田山「お祭り広場」

内 容 水辺の生物観察会

参加者 146名

講 師 清水 稔(動物)

### エ 旭保育園星たまご投影会

日 時 7月8日(金)

17時30分～18時30分

場 所 旭保育園ホール

内 容 季節の星の解説

参加者 49名

講 師 野村 美月(天文)

### オ 親子でチャレンジ 水の生き物に親しもう

日 時 8月11日(木)

10時～12時

場 所 北部公民館西里分館

内 容 水棲生物の生態と飼育に関する学習

参加者 30名

講 師 清水 稔(動物)

### カ 「地質の日」企画 阿蘇特別イベント

日 時 8月11日(木・祝)

10時～16時

場 所 阿蘇草原保全活動センター

内 容 平成28年熊本地震により中止を余儀なくされた定例共催展・イベントに替わるもので、阿蘇地域の子ども達を元気づけることを目的とした体験・展示イベント。

【体験コーナー熊本博物館担当分】

重鉱物の採集法の擬似体験

ぷかぷか三葉虫づくり

(液状化現象実験装置)

参加者 103名

(重鉱物47名、三葉虫56名)

主 催 「地質の日」くまもと実行委員会

講 師 南部 靖幸(地質)

山口 均(理工)

野村 美月(天文)

### キ くまもと森都心プラザ自主事業

「～くまもと彩発見～ロマン天体講座」

日 時 8月20日(土)、21日(日)

13時30分～15時30分

場 所 くまもと森都心プラザ2F

イベントスペース

内 容 ①星たまご 投影

②天文学と科学リテラシーについて

参加者 28名

講 師 野村 美月(天文)

### ク 山都町清和高原天文台専門研修

日 時 9月13日(火)～15日(木)

11月16日(水)～18日(金)

3月22日(水)～24日(金)

11時～21時

- 場 所 清和高原天文台  
内 容 各季節の主な星座・天体  
太陽望遠鏡の操作  
Mitakaを使った星空解説  
参加者 清和高原天文台職員 6名  
講 師 野村 美月 (天文)
- ケ 水辺散策会  
日 時 9月22日 (木・祝)  
10時～11時30分  
13時～14時30分  
場 所 水の科学館周辺  
内 容 自然観察会  
参加者 30名  
主 催 熊本市水の科学館  
講 師 清水 稔 (動物)
- コ くまもと森都心プラザ「秋まつり2016」  
日 時 10月15日 (土)  
10時30分～15時  
場 所 くまもと森都心プラザ  
内 容 秋の星座の解説  
参加者 50名  
講 師 野村 美月 (天文)
- サ 黒髪幼愛園星たまご投影会  
日 時 10月28日 (金)  
19時～21時  
場 所 黒髪幼愛園遊戯室  
内 容 秋の星座の解説  
参加者 41名  
講 師 野村 美月 (天文)  
山口 均 (理工)
- シ シンポジウム  
「外来生物：私たちの問題」  
主 催 熊本野生生物研究会  
日 時 10月29日 (土)  
14時～17時  
場 所 くまもと県民交流館パレア
- 内 容 江津湖の外来生物についての講演  
講 師 清水 稔 (動物)
- ス 熊本市立図書館秋まつり  
「図書館でお星さまを見よう！」  
日 時 10月30日 (日)  
13時～17時  
場 所 熊本市立図書館  
内 容 秋の星座の解説  
参加者 70名  
講 師 野村 美月 (天文)  
竹原 明理 (美術工芸)
- セ 共催講演会「ジオパークと防災減災活動  
～熊本地震から見たこと～」  
日 時 11月19日 (土)  
18時30分～20時  
場 所 熊本県民交流館パレア  
内 容 平成28年熊本地震とジオパークの  
活動に関する講演会  
参加者 約150名  
主 催 「地質の日」くまもと実行委員会  
講 師 尾池 和夫氏 (京都造形大学長)
- ソ 「熊本地震はどんな地震であったか」  
主 催 菊池川自然塾  
日 時 11月20日 (日)  
10時～15時30分  
場 所 水辺の学習館ゆめほたる  
内 容 地震に関する講演会で、熊本博物館は  
午後の部の液状化現象講座を担当。  
参加者 32名  
講 師 南部 靖幸 (地質)
- タ 独立行政法人国立文化財機構「文化財防災ネッ  
トワーク推進事業」公開シンポジウム  
日 付 12月4日 (日)  
場 所 九州国立博物館  
内 容 熊本地震後の熊本博物館の取り組みに  
ついて報告。パネルディスカッション

- にパネリストとして参加。
- 講 師 和田 仁 (館長)  
木山 貴満 (歴史)  
甲斐 由香里 (保存科学)  
竹原 明理 (美術工芸)
- チ 日吉保育園星たまご投影会  
日 時 12月9日 (金)  
10時～12時  
場 所 日吉神社参集殿  
内 容 冬の星座の解説  
参加者 82名  
講 師 野村 美月 (天文)  
山口 均 (理工)
- ツ 託麻公民館講座  
「熊本城の歴史と災害からの復興」  
日 時 12月14日 (水)  
10時～12時  
場 所 託麻公民館2F C会議室  
参加者 30名  
講 師 木山 貴満 (歴史)
- テ 清水公民館講座  
「科学工作：飛ばして遊ぼう！」  
日 時 1月14日 (土)  
10時～11時30分  
場 所 清水公民館2F大ホール  
内 容 グライダーバード その他  
参加者 79名  
講 師 山口 均 (理工)
- ト 立田山親子キャンプ天体観測会  
日 時 1月21日 (土)  
19時～20時  
場 所 児童遊園 立田山野外保育センター  
内 容 冬の天体の観察  
参加者 48名  
講 師 野村 美月 (天文)  
山口 均 (理工)
- ナ 託麻公民館講座  
「ぶかぶか三葉虫を作ろう」  
日 時 1月29日 (日)  
10時～11時30分  
場 所 託麻公民館2階会議室  
内 容 三葉虫に関する化石講座と、液状化現象に関する工作体験学習。  
参加者 18名  
講 師 南部 靖幸 (地質)
- ニ 託麻公民館講座  
「箱の中に虹を作ろう！」  
日 時 2月12日 (日)  
10時～12時  
場 所 託麻公民館2Fホール  
内 容 分光シートを利用した虹の箱作り  
参加者 39名  
講 師 山口 均 (理工)
- ヌ 公益財団法人日本博物館協会「平成28年度研究協議会」  
主 催 日本博物館協会  
日 時 2月23日 (木)～24日 (金)  
場 所 熊本県立美術館  
内 容 研究協議会テーマ2 博物館の危機管理～大規模災害と博物館～への講師参加  
参加者 80名  
講 師 木山 貴満 (歴史)  
甲斐 由香里 (保存科学)  
竹原 明理 (美術工芸)
- ネ 託麻公民館講座  
「知りたい！刀剣の世界－熊本博物館所蔵品を中心に－」  
日 時 3月17日 (金)  
13時30分～15時30分  
場 所 託麻公民館2階C会議室  
内 容 熊本の刀剣に関する講座  
参加者 22名  
講 師 竹原 明理 (美術工芸)

## (6) プラネタリウム

### ア プラネタリウムの構成

- ・プラネタリウムドーム 直径16m
- ・座席数 180席
- ・プラネタリウム機器  
光学式投映機 五藤光学CHRONOS II  
デジタル式投映機五藤光学VIRTUARIUM II
- ・音響装置
- ・コントロールコンソール
- ・補聴装置（磁気誘導ループ方式）



プラネタリウム室

### イ 投映プログラム

リニューアル工事に伴い、本年度はプラネタリウム投映を実施しなかった。

### ウ その他

熊本大学教育学部理科教育での活用

講義の一環として、プラネタリウムを活用した解説を行った。

日時 10月7日（金）

14時30分～17時40分

内容 四季の星座

プラネタリウムの多様性について

天文学と科学リテラシー

参加者 23名

## (7) 同好会

### 考古学同好会

考古学同好会は、昭和60年（1985）年3月に発足した。考古学講座（初級）を修了した方に、同好会（中・上級）への入会資格が与えられる。これまでに第30期生まで入会しており、平成29年3月31日現在の会員数は43名。原則として、毎月第3金曜日にバス見学会や室内学習会を実施している。年間計画の立案、バスの手配や保険の手続きなど運営は全て会員によって行われている。

博物館が休館中のため、今年度は室内学習も館外の施設で実施。

- |       |                                |     |
|-------|--------------------------------|-----|
| 4.15  | 熊本地震のため中止                      |     |
| 5.20  | バス見学「魏志倭人伝の末蘆国、伊都国を訪ねる」        | 20名 |
| 6.17  | 「出土品が語る本丸御殿」                   |     |
|       | 美濃口雅朗（熊本城調査研究センター）             | 27名 |
| 7.15  | 「弥生時代の阿蘇」                      |     |
|       | 宮崎敬士（熊本県文化課）                   | 19名 |
| 8.19  | 室内学習「九州の地理的位置と九州ナイフ形石器文化の成り立ち」 | 22名 |
| 9.16  | バス見学「西南戦争戦跡めぐり」                | 18名 |
| 10.21 | バス見学「宮崎市、西都市史跡探訪」              | 20名 |
| 11.18 | 「熊本城探訪」                        |     |
|       | 富田紘一文化財専門相談員                   | 26名 |
| 12.16 | 福田会員発表「くまもとの絵馬拾遺」              | 25名 |
| 1.20  | 新年会                            | 16名 |
| 2.24  | 「熊本城の被災状況について」                 |     |
|       | 富田紘一文化財専門相談員                   | 27名 |
| 3.17  | 総会                             | 22名 |

## (8) 教職員研修

小学校理科実験・実技研修会

日 時 8月5日(金)

9時30分～12時

場 所 力合小学校PC室

内 容 電気单元に関する教材作成

参加者 35名

講 師 山口 均 (理工)

## (9) 博物館実習生の受け入れ

休館中のため、受け入れを行わなかった。

## (10) ナイス・トライ事業の受け入れ

休館中のため、受け入れを行わなかった。

## (11) 社会体験研修

休館中のため、受け入れを行わなかった。

## 4 収集保存

### (1) 資料のデータベース化

資料のデータベース化は、収蔵庫の整理作業と並行して行っている。データベース化には、1) 資料管理の効率化 2) 特別展や企画展・移動博物館などでの資料活用の効率化 3) 貸借の履歴管理の簡便化 4) 各種問合せへの迅速な対応 5) 研究での利用促進 等の効用が考えられる。

分野別資料点数 (H29.3.31現在)							
地質	動物	植物	理工	考古	歴史	民俗	総計
20097	58161	16721	137	10217	15049	13135	133517

### (2) 寄贈資料

#### ア 人文分野

5.5	楊心流武芸目録	3点	8.3	加賀山家文書	244点
5.5	写真アルバム	2点	9.15	鏡台	1点
5.20	「宝暦十三年」銘鯨瓦	1点		帳場箱 (領収書類も含む)	1点
6.6	トランク	2点		豆腐商札	1点
	鞆	1点		華道家元札	1点
	モロブタ	2点		カンナ	1点
	子どもの用着物	6点		越中富山置薬箱	1点
6.28	ヒノシの先	2点		煙草盆	1点
	ベル	1点		朱塗祝膳 (大・小)	2点
	十手	1点		煙草盆 (煙草立て欠損)	1点
	釣瓶桶	1点		機銃掃射を受けたレコード入れ	1点
	錫杖の先	1点		鶴松柄朱塗菓子器	1点
	伝・進軍ラッパ (日清戦争使用)	1点		VICTROLA製携帯蓄音機 (軍艦マーチレコード付)	1点
	伝・忍び道具 (鉤縄) の鉤	1点		朱塗御櫃	1点
	初節供の幟	1点		枡 (五合・二合五勺・一合)	3点
	家紋入りの羽織	1点		膳 (伝・榎津塗)	3点
	兵士使用鞆	1点		クケ台 (かけ針器付)	1点
	鯉幟	1式		六殿宮祭礼奉納舞踊用傘	1点
	鯉幟 (科学繊維製)	1式		箱膳 (大・中・小)	3点
7.14	そろばん	1点		金泥縁黒塗盆	5点
	丹前	1点		提重	1点
	久留米緋反物	2点		唐棹	2点
	防空頭巾	1点		柄振 (麦アサリ)	1点
7.14	丸型振子掛時計	1点		草取り機	1点
				土入れ	1点
				タタキ	1点
				クレ切り	1点
				カライモ突き	1点
				『192U型シンガーミシン取扱説明書』	1点
				裁縫の教科書『裁縫の友』	1点
				『世界現勢解説地図』	1点
				朝日写真ニュース	4点
				明治天皇御製和歌印刷色紙	8点
				丹前	1点
				帽子	1点
				学生帽	3点
				紋付	4点
				着物 (上着)	1点

10.19	脇差（表銘：備洲長船忠光 裏銘：文亀三年八月日）	1 振	10.7	昆虫標本（主にチョウ）ドイツ箱 中型標本箱	2 箱 18箱
10.21	カーバイトランプ	1 点	<b>(3) 資料の利用</b>		
	大工用鉋	9 点			
11.18	澤村家文書	70点	ア 資料の貸出		
11.30	栗津家文書	約118点	(ア) 人文分野		
12.11	刀（豊後守光忠、拵付）	1 振	4.1~3.31	上南部遺跡出土土偶（第158図-1）の うち頭部以外1点	九州国立博物館
	短刀（備州長船康光、拵付）	1 振	4.1~3.31	特別史跡熊本城跡及び藤崎宮跡 出土品一括	熊本城調査研究センター
	甲冑	1 領			
	陣笠（四ツ目菱紋入）	1 点			
	胸当（四ツ目菱紋入）	1 点			
	盥（立茗荷紋入）	1 点			
1.13	和文タイプライター「ホーブン」	1 式	5.20~7.7	池辺寺跡出土鬼瓦	1 点
1.7	岩本家資料	約70点			熊本県立美術館
1.11	林田家資料	約140点	11.29~5.22	横井小楠書簡 (元治元年4月4日付)	
2.1	細川刑部家資料	4 点			
2.8	釣瓶桶	1 点			1 点
	釣瓶用滑車	1 点		横井小楠書簡	
2.8	神棚	1 点		(文久3年11月3日付)	1 点
	恵比須像	1 点			熊本県立美術館
	大黒像	1 点			
	二眼レフカメラ	1 点	12.26~3.23	渡鹿貝塚出土 鐘崎式土器	1 点
	火鉢	1 点		原古閑遺跡出土	
	着物	3 点		北久根山式土器	1 点
	黒電話	1 点		一般財団法人 熊本県伝統工芸館	
2.8	犁（二段耕・日の本号）	1 点	12.26~3.25	的	3 点
	馬鋤	1 点		ボンテン	1 点
	飛行機馬鋤	1 点		河童の造り物	1 点
	手鋤	3 点		七夕綱の飾り	6 点
	ウセグラ（荷鞍）	1 点		弓矢	2 点
	ワラウチ（木槌）	1 点		矢	1 点
	ガンズメ（押し雁爪）	2 点		シオンナメジヨ	4 点
	草取り機（太一車）	1 点		福結び綱	2 点
	千歯扱き	1 点		イニャーザル	1 点
	荷車の車輪（木製ホイール）	2 点		カセドリの注連縄	1 点
2.28	細川斉樹知行宛行状	1 点		モグラウチ	1 点
3.17	戦前・戦後の教育関連図書	65点		注連縄	1 点
				藁馬	1 点
イ 自然分野				藁人形	1 点
6.14	さく葉標本	4 点		藁包	1 点

	カセドリの藁馬	2点			NHK福岡放送局
	川祭りの供え物	1点	6.27	錦絵「鹿児島新報 田原坂激戦之図」	
	一般財団法人 熊本県伝統工芸館				1点
2.10～5.26	宝暦13年銘鯨瓦	1点			株式会社オメガ社
	株式会社 大林組		6.27	甲斐青萍 託麻原合戦図	1点
2.21～4.28	熊本城南面大観図	1点			株式会社デアゴスティーニ
	近藤樵仙筆 加藤清正像	1点	7.6	近藤樵仙筆 加藤清正像	1点
	西南戦争 熊本城激戦図	1点			NHKライツアーカイブスセンター
	熊本城宇土櫓の鬼板	1点	7.6	高橋廣湖 神武東征図	1点
	NHKプロモーション				まつ出版
3.16～5.22	甲斐青萍筆 託摩原合戦図	1点	7.11	近藤樵仙筆 加藤清正像	1点
	高橋廣湖筆 神武東征図	1点			株式会社ネクサス
	公益財団法人 島田美術館		7.12	熊本城南面大観図	1点
3.27～	熊本城跡出土				株式会社クリエイティブネクサス
	「慶長四年八月吉日」		8.1	熊本城人柱形人形	1点
	銘軒平瓦	1点			熊本城調査研究センター
	熊本県立美術館		8.24	近藤樵仙筆 加藤清正像	1点
(イ) 自然分野					株式会社アマゾンラテルナ
4.1～3.31	通潤橋木管	山都町役場	9.2	加藤清正像(熊本市指定文化財)	1点
1.20～3.8	上妻氏関連資料	9点			テレビ朝日映像
	くまもと文学・歴史館		9.5	熊本城古写真	1点
イ 資料の特別利用				加藤清正像(熊本市指定文化財)	1点
(ア) 人文分野				加藤清正ゆかりの扇	1点
5.5	錦絵「流星の珍説」	1点	10.7	熊本城真景図	1点
	株式会社新潮社			熊本鎮台辞令	1点
5.5	熊本字地図(色刷)	1点			KAB熊本朝日放送
	熊本市併合十一ヶ町村之図(色刷)	1点	10.13	横井小楠書簡(元治元年4月4日付)	
	熊本市総務課 歴史文書資料室				1点
5.26	熊本城南面大観図	1点		横井小楠書簡(文久3年11月3日付)	
	西南戦争古写真	2点			1点
	株式会社デアゴスティーニ・ジャパン				熊本県立美術館
6.9	熊本城跡出土「慶長四年八月吉日」銘		10.13	近藤樵仙筆 加藤清正像	1点
	軒平瓦	1点			NHKプラネット四国支社
	株式会社 クリエイティブネクサス		10.14	隈本古絵図	1点
6.27	西南戦争古写真	4点			株式会社エディキューブ
	錦絵「鹿児島戦争記川尻本営之図」		10.17	錦絵「田原坂激戦の図」	1点
		1点			株式会社悠工房
	錦絵「川尻の戦い、川尻の西郷本陣」		10.19	細川ガラシャ位牌	1点
		1点			株式会社エディキューブ

10.21	熊本城南面大観図	1点	錦絵「加藤清正虎退治」	1点
	近藤樵仙筆 加藤清正像	1点	近藤樵仙筆 加藤清正像	1点
	馬堀善孝筆 加藤清正像	1点		株式会社ホールマン
	加藤清正像（熊本市指定文化財）	1点	1.5～3.20	
	錦絵「熊本城戦争の図」	1点	的	3点
	錦絵「鹿児島征討図」	1点	ボンテン	1点
	赤星閑意 熊本城北面大観図	1点	河童の造り物	1点
	日本テレビ放送網株式会社		七夕綱の飾り	6点
10.25	近藤樵仙筆 加藤清正像	1点	弓矢	2点
	株式会社メルプランニング		矢	1点
10.27	錦絵「鹿児島新聞 熊本戦争図」	1点	シヨннаメジヨ	4点
	株式会社ランズ		福結び綱	2点
11.8	馬堀善孝 加藤清正肖像画	1点	イニャーザル	1点
	ユニオン映画株式会社		カセドリの注連縄	1点
11.16	加藤清正像（熊本市指定文化財）	1点	モグラウチ	1点
	株式会社テーク・ワン		注連縄	1点
11.16	錦絵「田原坂激戦の図」	1点	藁馬	1点
	明治図書出版株式会社		藁人形	1点
11.18	熊本城真景図	1点	藁包	1点
	株式会社有明測量開発社		カセドリの藁馬	2点
11.29	錦絵「田原坂激戦の図」	1点	川祭りの供え物	1点
	株式会社悠工房		一般財団法人 熊本県伝統工芸館	
11.30	甲斐青萍明治時代風俗画	5点	1.5～3.20	
	個人利用		渡鹿貝塚出土 鐘崎式土器	1点
12.8、12.19	健軍上ノ原遺跡出土縄文土器		原古閑遺跡出土	
	熊本大学文学部考古学研究室		北久根山式土器	1点
			一般財団法人 熊本県伝統工芸館	
12.9	近藤樵仙筆 加藤清正像	1点	1.16 近藤樵仙筆 加藤清正像	1点
	株式会社NHKエンタープライズ		株式会社NHKプラネット近畿総支社	
12.9	熊本城南面大観図	1点	1.31 錦絵「田原坂激戦の図」	1点
	錦絵「熊本城戦争之図」	1点		株式会社小学館
	近藤樵仙筆 加藤清正像	1点	2.6 熊本城南面大観図（熊本城真景図）	1点
	日本テレビ 情報カルチャー局		一般財団法人	
12.12	熊本城跡出土		熊本国際観光コンベンション協会	
	「慶長四年八月吉日」銘軒平瓦	1点	2.8 伝左山古墳出土 横矧板鋌留短甲	1点
	熊本県立美術館		奈良県立橿原考古学研究所	
12.19	熊本之図	1点	2.11 西平貝塚出土縄文土器 一括	
	熊本城下絵図	1点		九州大学大学院地球社会統合科学府
	熊本市観光政策課		2.20 視実等象儀	1点
1.5	熊本城南面大観図	1点		株式会社NHKエンタープライズ

- 2.20 熊本城南面大観図 1点  
 錦絵「熊本城激戦図」 1点  
 熊本城古写真 1点  
 NHKプロモーション
- 2.21 錦絵「鹿児島征討一覧」 1点  
 株式会社小学館
- 3.2 甲斐青萍筆 託摩原合戦図 1点  
 公益財団法人 島田美術館
- 3.8 神風連の変錦絵  
 永嶋孟斎筆《熊本の賊徒を討伐の図》  
 1点  
 株式会社SPフォーラム
- 3.8 熊本城南面大観図 1点  
 株式会社 天夢人
- 3.13 近藤樵仙 加藤清正像 1点  
 株式会社ネクサス
- 3.23 鹿児島島の賊軍 熊本城激戦図 1点  
 凸版印刷株式会社
- 3.27 熊本城北面大観図 ほか 22点  
 株式会社トータルメディア開発研究所
- (イ) 自然分野
- 10.20 上妻氏関連資料(書簡など)  
 くまもと文学・歴史館

#### (4) 資料の保存

##### ア 博物館資料のくん蒸

3月13日(月)から16日(木)の4日間、当館所蔵の歴史・美術工芸資料、民俗資料に対してエキヒュームSによるくん蒸を行った。

##### イ 考古資料の修復

リニューアル後に考古常設展示にて陳列予定の金属製品について、特に処理が必要と判断された以下の3件について、展示整備経費で保存処理を実施中(～平成29年度)。

- ・細型銅剣(弥生時代:ヤリカケマツ遺跡出土)
- ・銅戈(弥生時代:鶴羽田遺跡出土)
- ・鞍金具(古墳時代:稲荷山古墳出土)

##### ウ 歴史資料・美術工芸資料の保存・修復

- ・収蔵刀剣類について、手入れを年4回実施(正海刀剣研磨処)。
- ・大身槍(館蔵品)の研磨を実施(正海刀剣研磨処)。
- ・熊本地震直後に寄贈を受けた鯨瓦について、資料の一時保管を福岡市に協力依頼

##### エ 民俗資料の修復

リニューアル後に民俗常設展示で展示予定だった消防ポンプが地震で被災した。そのため、修復作業を行った。

#### (5) 資料整理作業

##### ア 考古分野

昨年度に引き続き、リニューアルに伴う引越で契約倉庫内に保管中の収蔵資料については、定点観測する資料をあらかじめ決めておき(古墳時代金属製馬具)、サビの進行や劣化が見られないか、毎月確認を実施している。

##### イ 歴史・美術工芸分野

歴史分野では新規受け入れ資料の整理・データベース登録を行った。

美術工芸分野では昨年度に引き続き、館蔵刀剣調査を行った。

##### ウ 民俗分野

地震にともなって多くの民具の寄贈を受けた。これらの資料を整理し、データベース登録を行った。

# 5 報 告

## (1) 「みんなでまもる文化財

### みんなをまもるミュージアム」事業

当館が上記事業（平成28年度文化芸術振興費補助金 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業）の連携協力機関であるため、研修会やワーキング会議に参加した。

#### ア 第1回 全体会議

日 付 5月25日（水）

場 所 九州国立博物館

参加者 甲斐 由香里（保存科学）

#### イ 独立行政法人国立文化財機構「文化財防災ネットワーク推進事業」特別講演会

##### 第1回ワーキング会議

日 付 7月18日（月・祝）～7月19日（火）

場 所 九州国立博物館

参加者 木山 貴満（歴史）

#### ウ 調査・情報収集（東海地方）

日 付 11月29日（火）～12月1日（木）

12月6日（火）～12月7日（水）

場 所 愛知県美術館

名古屋市港防災センター

国立民族学博物館

知多市歴史民俗博物館

参加者 甲斐 由香里（保存科学）

#### エ 市民ボランティアのためのワークショッププログラム策定研修会

日 付 12月3日（土）

場 所 熊本県博物館ネットワークセンター

参加者 木山 貴満（歴史）

甲斐 由香里（保存科学）

竹原 明理（美術工芸）

#### オ 第2回 ワーキング会議

日 付 12月5日（月）

場 所 九州国立博物館

参加者 甲斐 由香里（保存科学）

#### カ 第2回 研修会

日 付 2月1日（水）

場 所 熊本市現代美術館

参加者 清水 稔（動物）

甲斐 由香里（保存科学）

山口 瑞貴（植物）

竹原 明理（美術工芸）

#### キ 第2回 全体会議

日 付 2月15日（水）

場 所 九州国立博物館

参加者 甲斐 由香里（保存科学）

## (2) 地域連携の構築：

### 日米自然科学博物館事業

学校や博物館等で利用できる地質・古生物・天文分野の教育プログラム開発を目的として、熊本県と姉妹都市であるモンタナ州（アメリカ合衆国）の自然科学系博物館が連携して取り組んでいる。当館はプロジェクト参加館としてシンポジウムやワークショップに参加した。

#### ア ワークショップ・公開フォーラム（御船）

日 付 11月5日（土）

場 所 御船町恐竜博物館

参加者 野村 美月（天文）

和田 仁（館長）

南部 靖幸（地質）

#### イ ワークショップ・公開フォーラム（阿蘇）

日 付 11月6日（日）

場 所 阿蘇火山博物館

阿蘇プラザホテル

参加者 野村 美月（天文）

南部 靖幸（地質）

#### ウ ワークショップ・公開フォーラム（天草）

日 付 11月9日（水）～11日（金）

場 所 天草市立御所浦白亜紀資料館  
天草文化交流館  
参加者 野村 美月 (天文)

第64回全国博物館大会への参加  
出張者 竹原 明理 (美術工芸)

### (3) 館外での研修・調査 (出張等報告)

日 付 6月16日 (木)  
場 所 独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所  
内 容 平成28年度保存担当学芸員フォローアップ研修への参加  
出張者 甲斐 由香里

日 付 11月30日 (水) ~12月2日 (金)  
場 所 国立教育政策研究所  
社会教育実践研究センター  
内 容 平成28年度博物館学芸員専門講座  
参加者 美濃口 紀子 (考古)

日 付 10月24日 (月) ~10月28日 (金)  
場 所 京都国立博物館  
内 容 指定文化財 (美術工芸品) 企画・展示セミナーへの参加  
出張者 木山 貴満 (歴史)

日 付 12月1日 (木)  
場 所 熊本県八代市内  
内 容 熊本市近隣市町村外での地質調査・標本採集  
出張者 南部 靖幸 (地質)

日 付 11月7日 (月) ~11月10日 (木)  
場 所 国立科学博物館 筑波研究施設  
国立科学博物館 上野本館  
内 容 平成28年度学芸員専門研修  
アドバンストコース (動物コース)  
参加者 清水 稔 (動物)

日 付 12月12日 (月)  
場 所 熊本県上天草市内  
内 容 熊本市近隣市町村外での地質調査・標本採集  
出張者 南部 靖幸 (地質)

日 付 11月10日 (木) ~11月11日 (金)  
場 所 福岡県立図書館  
海の道むなかた館  
芦屋歴史の里 歴史民俗資料館  
芦屋釜の里  
福岡県立美術館  
内 容 第46回九州博物館協議会学芸員・事務職員研修会への参加  
出張者 竹原 明理 (美術工芸)

日 付 12月14日 (水) ~12月15日 (木)  
場 所 柏崎市立博物館  
長岡市立博物館  
おちや震災ミュージアムそなえ館  
内 容 新潟県中越地震・中越沖地震の被災地周辺での地震に関する展示類例調査  
出張者 南部 靖幸 (地質)

日 付 11月16日 (水) ~11月17日 (木)  
場 所 群馬県立歴史博物館  
群馬音楽センター  
高崎シティーギャラリー  
内 容 群馬県立歴史博物館リニューアル視察・

日 付 12月22日 (木)  
場 所 あさぎり町教育委員会  
(生涯学習センター)  
内 容 国指定重要文化財 才園古墳出土品 (あさぎり町所蔵・熊本博物館寄託) リニューアルオープン後の取扱協議  
出張者 美濃口 紀子 (考古)

日 付 1月12日 (木)  
場 所 九州大学伊都キャンパス  
内 容 熊本地震に関する展示パネルの監修依

頼・解説原稿検討作業  
 出張者 南部 靖幸（地質）  
 日付 1月19日（木）  
 場所 福岡市博物館  
 福岡市埋蔵文化財センター  
 内容 鯨瓦の補修状況など確認  
 出張者 美濃口 紀子（考古）  
 日付 1月27日（金）  
 場所 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム  
 内容 展示類例調査（出土人骨）  
 出張者 美濃口 紀子（考古）  
 日付 2月8日（水）～2月9日（木）  
 場所 元興寺文化財研究所  
 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館  
 斑鳩文化財センター  
 内容 才園古墳出土鏡レプリカ検収  
 展示類例調査（藤ノ木古墳馬具など）  
 出張者 美濃口 紀子（考古）  
 日付 2月14日（火）～16日（木）  
 場所 沖縄県立博物館・美術館  
 海洋文化館・プラネタリウム  
 牧志駅前ほしぞら公民館  
 内容 プラネタリウム類例調査  
 出張者 野村 美月（天文）  
 日付 2月16日（木）～17日（金）  
 場所 京都鉄道博物館  
 内容 全国科学博物館協議会総会・研究発表参加  
 出張者 山口 瑞貴（植物）  
 日付 3月3日（金）  
 場所 九州国立博物館  
 内容 展示類例調査（馬具・甕棺）  
 出張者 美濃口 紀子（考古）

日付 3月23日（木）～24日（金）  
 場所 滋賀県立琵琶湖博物館  
 多田町立博物館  
 内容 展示類例調査（ゾウ・シカ化石）  
 出張者 南部 靖幸（地質）  
 日付 3月28日（火）～30日（木）  
 場所 公益財団法人 永青文庫  
 船の科学館  
 刀剣博物館  
 作品所蔵者宅  
 内容 展示類例調査（波奈之丸・刀剣等）  
 出張者 木山 貴満（歴史）  
 竹原 明理（美術工芸）  
 日付 3月29日（水）～30日（木）  
 場所 葛飾区郷土と天文の博物館  
 内容 天文イベント運営等調査  
 出張者 野村 美月（天文）

#### （４）熊本県博物館連絡協議会

平成27年度6月より、熊本県立美術館から当館が事務局を引き継いだ。加盟館は44館（平成29年3月31日現在）。

##### ア 総会

日時 10月18日（火） 13時～  
 場所 山鹿市八千代座交流施設

##### イ 専門研修会

日付 2月17日（金）  
 場所 午前の部 武雄市歴史資料館  
 午後の部 佐賀県立宇宙科学館  
 内容 国指定重要文化財を含む武雄市が所有する江戸期の蘭学に関する資料の見学と、宇宙科学館の体験型展示の視察。  
 参加者 県内の博物館・美術館職員等 25名

## 6 調査・研究

### (1) 調査・研究

#### ア 基本的な考え方

博物館における調査・研究活動は、資料の収集・保存・展示・教育普及活動の根幹を成すものであり、当博物館の基本構想および理念を基本とし、次の点に留意して行う。

- その成果が市民に還元できるものであること。
- 当館の設立主旨に沿ったものであること。
- 将来、展示に活かされるものであること。
- 科学的・客観的なものであること。

#### イ 調査・研究の目標

##### (ア) 館共通

熊本の歴史と自然および科学技術についての研究を行う。

##### (イ) 分野別

##### 【地質分野】

熊本県内を中心に地質・化石の調査を行う。

##### 【動物分野】

熊本県内の動物分布に関する調査を行う。

##### 【植物分野】

熊本県内の植物分布に関する調査を行う。

##### 【理工分野】

楽しく活動しながら自然科学の原理や技術について体感できるような体験型プログラムの開発を目指すとともに、理工分野の企画等について調査・研究する（先進都市などの手法を参考にしながら）。

##### 【考古分野】

熊本県内の埋蔵文化財に関する調査・研究を行う。また、寄贈されたコレクションについては、県外の資料についても調査・研究を行う。収蔵資料の多くは未整理なので、分類・整理・資料紹介に努め、市民や研究者などに、幅広く活用いただくことを目的とする。

##### 【民俗分野】

熊本博物館所蔵の資料整理ならびに展示をすすめる、市民や来館者に新たな情報を提供することを目的とする。

##### 【歴史・美術工芸分野】

熊本博物館所蔵資料の調査・整理を行い、歴史・美術史・工芸史の観点からの研究をすすめる、市民や来館者への情報提供、展示に活用するための準備に努める。

##### 【保存科学分野】

熊本博物館の館内環境を調査し、展示品や収蔵品に適切な状態を保つことを目的とする。また、資料の修復などについて担当学芸員と相談の上、適切な処置の方法を考える。

#### ウ 平成28年度 調査・研究の目標および活動

##### 【地質分野】

- ・熊本市周辺の熊本地震による地盤変動・被災現場の写真撮影
- ・県内の主要化石・岩石産地調査（八代市等）
- ・館蔵地質資料の整理・再調査
- ・阿蘇中岳火山噴火の写真撮影と噴出物採集
- ・液状化現象に関する体験学習プログラム開発

##### 【動物分野】

金峰山山系および江津湖の動物相調査

##### 【植物分野】

リニューアルの展示資料に係る金峰山および江津湖を中心とした調査および採集

##### 【理工分野】

- ・子どもの心の中に「不思議のタネ」をまくための科学実験・科学工作等の開発・充実。
- ・小中学校の授業に活用できる学習プログラムや教材・教具等の開発・改善。

##### 【考古分野】

リニューアル後に展示予定の遺跡・遺物に関連した資料整理・資料調査・相手方との協議など。

##### 【民俗分野】

熊本博物館所蔵資料の整理・調査。  
消防ポンプの修理。

##### 【歴史分野】

- ・熊本城顕彰会資料をはじめとする寄託資料の確認・整理作業。
- ・歴史分野では館内仮整理資料の情報把握に努め、それぞれ中性紙箱への移し替えを順次実施。

#### 【美術工芸分野】

- ・熊本地震による被災文化財相談への対応、文化財レスキュー事業への参加。
- ・2月13日（月）～15日（水）にかけて、館蔵刀剣資料の調査を実施（於 塚原歴史民俗資料館）。
- ・3月10日（金）、国指定重要文化財「木造東陵永璵禪師倚像」（所有者：雲巖禪寺、管理団体：熊本市。博物館リニューアルに伴い、熊本県立美術館にて保管中）の保存・修復に向けた再調査を実施（於 熊本県立美術館）。

#### 【保存科学分野】

被災資料の応急処置やその後の経過観察を継続して行っている。

リニューアルに伴う博物館収蔵資料の梱包・搬出搬入作業スケジュール調整や仕様について各担当者と協議を行った。また、資料保管場所の温湿度を測定し、年間を通じての動向を調査・比較している。



# 平成28年度 熊本博物館活動概況

	特別展・企画展	共催展	行事・イベント・教室	館外活動 派遣授業	講座・同好会	共催事業
地質						
動物				派遣授業：4プログラム実施	塚原歴史民俗資料館 考古学講座（2/12）	
植物		肥後朝顔涼花会 秋の展示会（9/2、3）	塚原歴史民俗資料館 野外博物館（4/6、11/3）	派遣授業：3プログラム実施		
理工			子ども科学・ものづくり教室 （17教室開催） 「液体窒素実験ショー」「おもしろ実験・工作に挑戦！」 「虹の箱」「宙返りバード」 他、530名	派遣授業：4プログラム実施		未開催（リニューアル後に再開予定 ①テクノサイエンスキップ：熊本高専 ②科学の広場：崇城大学）
天文				派遣授業：1プログラム実施		
考古					考古学同好会 （リニューアル工事期間中は館外にて自主開催）	
歴史 美術工芸				派遣授業：3プログラム実施		
民俗				派遣授業：1プログラム実施		
保存科学				派遣授業：2プログラム		

関係団体	その他教育普及	相談件数・報道 対応	資料取扱	資料管理	調査研究
「地質の日」 くまもと実行委員会	○「地質の日」企画 阿蘇特別イベント (8/11、103名) ○菊池川自然塾講座 (11/20 32名) ○託麻公民館講座 (1/29 18名)	報道対応 1件 相談件数 18件		データベース入力5件	・県内の主要化石・岩石産地調査 ・熊本地震の写真記録 ・阿蘇中岳の噴出物採集 ・液状化現象に関する体験学習プログラム開発
	○総合的な学習 (画図小4年生 7/14 169名 出水南小5年生 10/4、11/4、2/20 128名) ○立田山探検隊観察会7/3 146名 ○北部公民館西里分館主催親子学習会 (8/11 30名) ○水の科学館水辺散策会 (9/22 30名) ○熊本野生生物研究会主催シンポジウム (10/29 など)	報道対応 約10件 相談件数 約30件	寄贈資料 1件	データベース入力 56件	・江津湖の動物相調査 ・金峰山山系の動物相調査 ・熊本県内の魚類相調査
肥後朝顔涼花会	○総合的な学習 (出水南小5年生 10/4、11/4、2/20 128名)	報道対応 3件 相談件数 10件	寄贈資料 4件 特別利用 1件 資料貸出 1件	データベース入力 21件	・江津湖周辺の水生植物相調査 ・金峰山周辺の植物相調査
熊本市ものづくりサークル	○慶徳小学校3学年PTA活動 (9/24 43名) ○隈庄小学校1学年PTA活動 (11/27 160名) ○城北小学校5学年PTA活動 (11/30 165名) ○清水公民館講座 (1/14 79名) ○託麻公民館講座 (2/12 39名)	報道対応 約10件 相談件数 約15件	資料貸出 1件		・自然科学の原理などを学ぶことのできる体験的プログラムの研究・開発 ・興味・関心、問題解決能力を高める教材開発 ・リニューアル後の館内学習支援プログラムの開発
	弓削校区青少年健全育成協議会 「天体観測会・講演会」 (9/19 40名) など	報道対応 6件 相談件数 25件			
考古学同好会 肥後考古学会		報道対応 約10件 相談件数 約20件	資料貸出 5件 特別利用 6件		・リニューアル後に展示予定の遺跡・遺物に関連した資料整理・資料調査
永青文庫 熊本城顕彰会 島田美術館	○託麻公民館講座 (12/14 30名、3/17 22名) ○総合的な学習 (出水南小5年生 11/4、2/20 128名)	報道対応 6件 相談件数 50件	寄贈資料 11件 資料貸出 5件 特別利用 59件 分館展示資料搬出	データベース入力10件	・収蔵刀剣調査 ・東陵永興禪師倚像調査 ・リニューアル展示関係資料調査
		報道対応 4件 相談件数 20件	寄贈資料 11件 資料貸出 1件 特別利用 1件	データベース入力30件	・榎津塗の研究と調査 ※本館のリニューアル及び地震対応
		相談件数 20件			・熊本地震における熊本博物館の対応について